

さんのことを守るよ。愛してくれてありがとう。家族のことは心配しないで病気と闘ってほしい。』

資料『森兄弟のオリンピック』より

◎ビデオを視聴しての感想を書こう！

『 家族が支え合いながら生きていることにとっても感動しました。トオルさんが生きてスキーをすることができたのは、本人の強い希望と家族の協力や思いがあったからだと思いました。とても悲しい話だったけど、今も多くの人の心の中で生き続けていることだろうと思います。この授業で、家族のあたたかさや強い絆があることを学びました。』

◎2時間の道徳の授業を通しての感想

『 家族とは、どんな時でも心の支えになっているということが分かった。今までは大変な時にならないと分からなかったと思う。これからは、自分も心の支えになりたい。』

『 2つの授業で、もし自分の家族が死に直面した時、自分はどうするだろうと深く考えさせられた2時間だった。』

### 検証授業 2

ビデオ資料を活用した1時間単位の授業

- ① 岩崎恭子という名前は知らなくても、「今まで生きてきた中で一番幸せです」というフレーズで思い出す生徒が多く、ちょうど金メダルをとったのが中学3年生の時であったこともあって、身近に感じる事ができたようである。また、何が生徒を引き付けたのか考えてみると、「金メダリストが、なぜ、悩まなければならないのか」がかえって不思議で、新たな発見であったことも事実であると思わ

れる。「人間としての生き方」を考えさせる上で、華々しい栄光の陰でもがき苦しむ姿、さらには岩崎さんにとっての「ほんとうの幸せ」とは何かを是非、考えさせてみたい資料であった。生徒が目食い入るように画面を見ていたのが印象的であった〔資料5〕。

Q. あなたの感動度はどうでしたか。			
とても感動した	まあまあ感動した	少し感動した	感動しなかった
13人	9人	5人	1人

〔資料5〕

- ② 岩崎さんにとっての「ほんとうの幸せ」とは何かについて、話し合いによって掘り下げた後で、「今、現在の気持ちから、今までの自分を振り返り、自分自身に人間としての生き方についてアドバイスしてみよう」という形で、自分の考えを深め、価値の内面化を図ろうと考えてみた。頭では理解してはいるものの、華々しい舞台に立った経験のない生徒にとっては、確かに難しく実感しにくい内容であったのかもしれない。検証授業1に比べて、事後の評価〔資料6〕からも価値の内面化を図る展開としては弱かったように思われる。

Q. あなたは、自分のこととして考えることができましたか。			
よく考えた	まあまあ考えた	少し考えた	全然考えなかった
7人	12人	10人	0人

〔資料6〕

- ③ 検証授業1で2時間続きの授業を実施した結果、「疲れた」という声が8名あった。今回はビデオ資料のみを活用して考えさせるようにしたので、大半の生徒は集中力を持続し